

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 理学療法士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|----------|-----------------|---|------------------------------|---|---------------|
| 科 目 名 | 解剖生理学Ⅲ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 301 |
| 担 当 教 員 | 川内 秀之 ほか | 実務経験と その関連資格 | 医師として病院に勤務 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を系統的に学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 出席および課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 内分泌と外分泌の説明ができる。 内分泌腺と内分泌細胞について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ホルモン分泌の調節とその実際について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎臓の構造と機能について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 腎臓の構造と機能について | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 排尿路の構造と体液の調節について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 排尿路の構造と機能 体液の調節 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生殖器について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 男性生殖器、女性生殖器 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|-------------------------------|------------------------------|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 受精と胎児の発生について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 受精と胎児の発生、成長と老化 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 神経系の構造と機能について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 神経系の構造と機能、脊髄と脳 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脳の高次機能について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脳の高次機能 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 運動機能と下行伝道路について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動機能と下行伝道路 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚機能と上行伝道路について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚機能と上行伝道路 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自律神経の構造と機能について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自律神経の構造と機能 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経と脳神経について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経と脳神経① | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊髄神経と脳神経について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊髄神経と脳神経② | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 目の構造と視覚、耳の構造と聴覚・平衡覚について説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 目の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡覚 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 味覚と嗅覚、痛みについて説明できる。 | 解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 | 解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート |
| | | 各コマにおける授業予定 | 味覚と嗅覚、痛み | | |